

2/3  
3.14

# 「口ナ定點25.9%増

## 前週比 医療ひつ迫警戒

厚生労働省が発表した新型コロナウイルス感染の「定点把握調査」(17~23日)によれば、定点医療機関の平均感染報告数は前週比25.9%増の13.9件に急増しました。報告の総数も6万8601人(前週比1万4451人増、26.7%増)に拡大。沖縄、香川両県を除く45都道府県で

増加しました。

新型コロナの5類感染症への移行(5月8日)以来、同省は感染の全数調査を取りやめ、全国約50000の医療機関の報告に基づく「定点把握調査」を実施することと改めています。移行後の感染報告は定点当たり、総数とともに10週連続で増加しています。今回は、佐賀県が前週一位の沖縄県を抜き最多の27・4人に上り、報告総数では大阪府が最多の4028人に上りました。

「医療ひつ迫注意報」を発令している静岡県は28日に、医療状況の評価を「医療ひつ迫注意レベル(レベル2)」に引き上げました。同県は、1週間の緊急搬送困難事案の件数など五つの指標のうち四つで目標を超えていたためだと説明しています。

三重県の一見勝知事は28日の記者会見で、「病床使用率が40%に近づくな」「医療機関がだんだん逼迫(ひっぱく)化し始めているような状態だ」として、換気や手洗い、マスク着用など基本的な感染予防対策の徹底を呼び掛けました。

新型コロナの5類感染症への移行(5月8日)以来、同省は感染の全数調査を取りやめ、全国約50000の医療機関の報告に基づく「定点把握調査」(17~23日)の新型コロナ

の新規入院患者は前週比2031人増(29・

1%増)の8858人へと急増しました。

感染と入院患者の急拡大に、自治体も警戒を強化。14日から「感染拡大注意報」を発令している静岡県は28日、医療状況の評価を

「医療ひつ迫注意レベル(レベル2)」に引き上げました。同県は、1週間の緊急搬送困難事案の件数など五つの指標のうち四つで目標を超えていたためだと説明しています。

三重県の一見勝知事は28日の記者会見で、「病床使用率が40%に近づくな」「医療